

上小地区賛助会

会報第124号(春季号)

平成29年 4月21日 発行

(公財) 長野県長寿社会開発センター上小支部

会長挨拶

上小地区賛助会 会長 堀田 公男

平成28年～29年度上小地区賛助会会長を仰せつかりました堀田公男です。今年も昨年同様ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。私共2期目のため会長と副会長増田久義・臼田朝子の2名及び幹事柳澤文薄・大和邦夫・相澤安幸・増澤紀美江・財部浩子の5名並びに監事、齊藤隆文・舞澤徳嘉の2名とも2年目になりますので共々宜しくお願い致します。



さて、上小地区において賛助会員加入促進を図ったところ、シニア大学卒業生による三グループが立上がり、賛助会に加入して頂きました。一方高齢化等により廃止せざるを得なくなったグループもあり大幅な会員増となっていないのが現状です。加入促進する中で『賛助会については良くわからない』『入会してもメリットがない』等の声を聞くことも多々あります。

県長寿社会開発センターでは、賛助会員の加入促進に向け、その活動をいかに魅力あるものにするかが重要な課題となっております。昨年12月長野市で行われた地区賛助会連絡協議会に於いて『賛助会の魅力と地区で工夫し取組んでいる活動』等が議題として取上げられ積極的な意見交換の結果、それぞれが知恵を出し合い創意工夫した賛助会活動が魅力に繋がるのではないか、という様に意見集約されました。

そこで、諸先輩方が築き上げて来た各種事業を踏襲しながら、魅力ある賛助会にするため創意工夫した活動を推進してまいりたいと思っておりますので、ご協力の程宜しくお願い致します。

総 会 案 内

日時・・・6月2日(金)

13:30～15:30

予定・・・総会 13:30～14:00

講演会 14:00～15:30

講師・・・上田保健福祉事務所

健康づくり支援課

課長補佐 小林ゆかりさん

演題・・・「健康長寿を目指す健康づくり

(ACE)の実践」

新事務局紹介

4月3日(月)に、中澤敏正事務局次長
田中奈津子主幹が着任しました。

「何も判らない状況ですが、皆様と共に



歩んで
行きた
いと思
います。
宜しく
お願い
します。」

(中澤敏正事務局次長、田中奈津子主幹)

★ ～元気で・いきいき作品展開催～ ★

連日賑わい、賛助会員グループの努力の結晶作品

平成 29 年 1 月 23 日～26 日



今年（平成 29 年）で 8 回目となる長野県長寿社会開発センター上小支部賛助会の「元気で・いきいき作品展」は、今年もアリオ上田店のご厚意により、1 月 23 日（月）から 26 日（木）の 4 日間にわたり「星のコート」に於いて盛大に開催することが出来ました。作品を数多く提供して頂いた各グループの皆さん、会場運営や受付当番に当たって頂いた会員の方々に感謝を申し上げます。



今年も昨年とほぼ同様 8 グループ等から 136 点を出品して頂きました。作品は努力の結晶作品ばかりで連日大賑わいでした。来場者は 4 日間で約 800 名余りで来場者は各グループの作品に興味を持ち、熱心に質問しており地区賛助会の PR も充分できたと思います。 出品にご協力頂いたグループは次の通りです。

- ・木彫同好会 ・木彫ふきのとう ・33 期木彫 ・川柳「柳歩」
- ・書道「春陽会」 ・上小グランドゴルフ同好会
- ・88 チャレンジ会 ・シニア大 2 年生「染写会」



短かった
二年間

39 期生 84 名

巣立 つ

賛助会
加入へ

平成 29 年 2 月 15 日（水）10 時から、上田合同庁舎 6 階講堂に於いて、シニア大学上小学部卒業式が来賓 26 名の見守る中で挙行されました。

男性 3 名女性 5 名の 84 名が、クラブ活動、友との絆を胸に巣立って行きました。

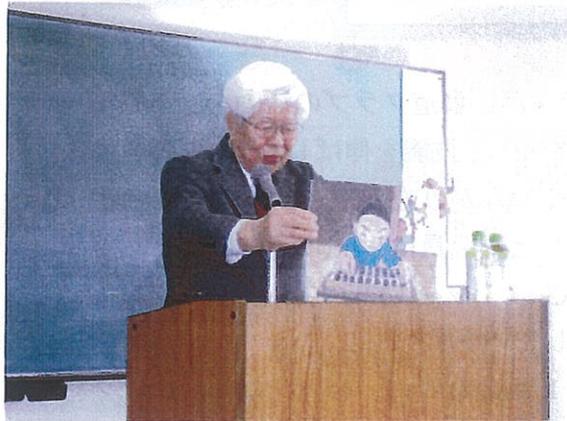
また、賛助会に三つのグループを立ち上げたり、既存のグループに入会するなど賛助会での活躍も期待されております。

式後、ささやで同窓会の発足を行い、「さんきゅう会」として第一歩を歩みだしました。

健康に留意され、出来ることを出来る時に地域に少しだけお裾分けする事を祈念しております。

公開講座

3月10日（金）上小地区賛助会第四回グループ代表者会議の後、赤松小三郎顕彰会副会長香山 裕先生から『郷土の偉人を知ろう幕末の俊英、赤松小三郎』と題して講演をいただきました。幕末期にいち早く二院制議会等新国家のグランドデザインを建白七策として提言した赤松小三郎の偉大さを知ることが出来ました。



（自作の紙芝居で紹介）

いた勝海舟の弟子となる。1854年4月（安政元年）上田藩士赤松弘の養子となり、藩の数学助教兼操練世話役を務める。

《江戸から長崎での修行》

- ・1855年9月（安政2年）勝麟太郎と共に長崎に向かい、海軍伝習所に於いて、更に5年程蘭学、英学、兵学、航海術等を学び、国を守るには海軍の力が必要と感ずる。

《改名結婚と佐久間象山との出会》

- ・1861年1月（文久元年）赤松清次郎から赤松小三郎に改名、33歳の時松代藩士の娘（たか）と結婚し、佐久間象山と出会い兵書等を貸与し交流する。

《英国歩兵練法の出版》

- ・1865年2月（慶応元年）再び下曾根塾に入門し、砲術研究しながら「英国歩兵練法」を翻訳して出版すると共に歩兵用の号令を作る。

《開塾と松平春嶽への建白と議会の開設》

- ・1866年2月（慶応2年）二院制議会を開設する等の為京都で塾を開き、約800人の塾生に対し「英国歩兵練法」と理想の議会政治を教える。
- ・1867年5月（慶応3年）都である京都、日本海に軍艦が入り乱れ危機感を感じた赤松小三郎が、平和目指の為、同年5月17日建白七策を提出する。

一つ上下二局の議会政治をする	五つ国防の海陸軍の兵備
二つ大学小学校の設置	六つ諸物製造局を造営
三つ国民の人民皆平等	七つ牛羊鶏豚の養殖と肉の常食
四つ国中の貨幣統一	

- ・1867年（慶応3年）9月3日上田に帰る途中、京都市内で37歳にして暗殺される。
- ・武士中心の政治も終わり、その後二院制議会が開設され上記の建白七策が実施された。

グループ

活動紹介

マイペースで、わきあいあいと

書道

春陽会

書道仲間の「春陽会」です。

平成 20 年 3 月卒業のシニア大学(老大)第 30 期の卒業生が、書道クラブの活動を、卒業後も



(丸山先生の師範を見て・・・)

引き続き学習を続け、技能を伸ばし、それを通じて、仲間との親睦やつながりを続けていくことを目標にスタートしました。会員は、その後に加わった方等で現在は 9 名(女 7 男 2)という少数人数で、和気あいあいと学習をしています。

学習会は月 1 回金曜日に、合同庁舎共済クラブをお借りして、午後 1 時から 3 時までの 2 時間開催しています。先生は、長年にわたり長野県の各学校等



でご指導をされていた丸山廣先生が、書道についてのいろいろなお話をされ、お手本を実際に書いて見せていただき、それを参考に、懇切丁寧に教えていただいております。また、途中の休憩時間は、和気あいあいと、つい時間が経ってしまうこともしばしば



(添削指導)

ですが、それも一つの楽しさであります。作品発表は、年に一つ作成し、「上小支部活動発表会」と「アリオ元気でいきいき作品展」に展示しています。

書道は、いろいろなレベルの者が、それぞれが自分のペースでできます。興味のある方は、お気軽に声をかけて下さい。今後もお互い、健康に気を付けて、学習を続け、年一回の作品発表が出来るように努めて行きたいと思っております。

編集後記

待望の上田城址の枝垂桜も咲いたと思ったら、もう葉桜となりました。これから様々な花々が咲き乱れ、新緑に包まれるいのち溢れる季節となります。

皆さんも気力、体力を維持し、花々に負けず劣らず希望を持ち、心豊かにお過ごしください。